

平成 28 年度 事業報告

一般社団法人横浜みなとみらい21

平成28年度 事業報告

平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで

当社は、みなとみらい21地区の街づくりに関わる多様な主体が一体となってエリアマネジメントを実践することにより、当地区の魅力を高め、質の高い都市環境の維持・向上を図り、もって活力あふれる国際文化都市・横浜の発展に寄与することを目的として、平成21年度から事業を開始しました。

これまでの間、会員の皆様とともにエリアマネジメント活動を実践し、その取組の中から地区の課題等を認識しつつ、着実に事業を推進してきました。さらに、平成27年4月1日には、一般財団法人ケーブルシティ横浜と合併し、新たに電波障害対策事業等を事業に加えるとともに、情報発信にかかる取組を強化し、新たな体制でスタートしました。今後も当地区の更なる発展に繋げていくため、引き続き会員の皆様とともに「街をつくり・育てる」仕組みづくりに取り組んで参ります。

今年度の事業では、「防災対策」、「環境対策」、「情報発信」の分野を重視し取組を進めてきました。「防災対策」については、防災エリマネ推進委員会において、『災害時の行動ガイド』の策定や帰宅困難者等を地区内各施設が連携・共同して受け入れる仕組みを整備しました。「環境対策」については、全国都市緑化よこはまフェアに合わせて地区内の緑化を推進したほか、みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、プロジェクトチームを運営し、横浜市等とともに環境未来都市の実現に向けて取り組みました。「情報発信」については、訪日外国人に対応したアクションプランの策定や、ウェブサイトの充実に取り組みました。とりわけ、2020年（平成32年）には東京オリンピック・パラリンピックが開催されることから、当地区でもインバウンド対応の取組を進め、ホスピタリティの向上を図ることでこの街の持つ魅力を高め、広くPRすることを検討しました。また、会員や就業者の交流の機会の創出にも取り組みました。

横浜都心電波対策事業においては、調査・対策を適切に実施し、広告・イベントスペース等運用事業においては、収益の向上に繋げるため、利便性や稼働率の向上に繋げる取組を検討・実施しました。

これら各事業の推進にあたっては、委員会や部会等の開催を通していただいた、会員の皆様からのご意見を踏まえ、情報共有を図るとともに、重要性や緊急性を考慮して限られた財源の中で最大限の効果が発揮できるよう、効率的な事業執行を行ってまいりました。

以下、平成28年度の実施事業をご報告します。

1 会員・役員・職員の状況（平成29年3月末日現在）

- 会員 正会員：75団体 準会員：5団体 賛助会員：42団体（計122団体）
- 役員 理事：12人 監事：2人
- 職員 20人

2 基金の状況

2億8,500万円

3 社員総会・理事会

○4月27日(水) 平成28年度第1回理事会(書面表決)

第1号議案 正会員入会の件

○6月14日(火) 平成28年度第2回理事会

第1号議案 平成27年度事業報告及び決算の件

第2号議案 平成27年度公益目的支出計画実施報告書の件

第3号議案 公益目的支出計画変更認可申請の件

第4号議案 社員総会招集の件

第5号議案 社員総会の付議事項の件

報告事項1 会員の入退会の件

○6月29日(水) 第8回定時社員総会

第1号議案 平成27年度決算計算書類の件

第2号議案 理事選任の件

第3号議案 監事選任の件

報告事項1 平成27年度事業報告の件

報告事項2 平成27年度公益目的支出計画実施報告書及び公益目的支出計画変更認可申請の件

報告事項3 平成28年度事業計画及び収支予算の件

○6月29日(水) 平成28年度第3回理事会

第1号議案 代表理事選定の件

第2号議案 執行理事及び専務理事の選定の件

報告事項1 会員の入退会の件

○11月28日(月) 平成28年度第4回理事会

第1号議案 正会員の入会の件

報告事項1 平成28年度上半期事業及び予算の執行状況の件

報告事項2 公益目的支出計画変更認可及び特定寄附の件

報告事項3 会員の入退会の件

○3月27日(月) 平成28年度第5回理事会

第1号議案 平成29年度事業計画及び収支予算の件

第2号議案 正会員の入会の件

第3号議案 事務局長の選任の件

第4号議案 定款第35条に関する取引の承認の件

報告事項1 平成28年度事業執行状況の件

報告事項2 会員退会の件

報告事項3 特定寄附及び公益信託の経過報告の件

4 事業構成

次の事業を柱としてエリアマネジメントを推進しています。

(詳細は次頁以降に記載しています。)

- (1) エリアマネジメント推進事業
 - ア 街づくり調整事業
 - イ 環境対策事業
 - ウ 文化・プロモーション事業
 - エ その他事業（会員交流事業）
- (2) 横浜都心電波対策事業
- (3) 広告・イベントスペース等運用事業

時代の変化に適応した街づくりを進めていくため、みなとみらい21地区全体の街づくりの方向性を議論し、共有化を図り、対応策を検討し実施します。

○ 安全・安心な街づくり

◇みなとみらい21地区における地震対策の推進

10,000 千円

【企画調整部・総務部】

東日本大震災以降、防災対策の重要性が高まっていることを踏まえ、みなとみらい21地区の災害に強い街としての強みに加え、エリアマネジメントを推進しているという特徴を活かして、地区内関係者が連携する『共助』の取組を進め、災害に対してより強靱で『安全・安心な街』の実現を目指します。

平成28年度は、26年度に発足した「みなとみらい21防災エリマネ推進委員会」での検討や活動を継続し、共助による帰宅困難者対策の推進等を図るとともに、都市再生安全確保計画策定を進めます。

①帰宅困難者受入対策等の推進

情報受伝達体制の機能強化や情報拠点の運営方法、さらに、帰宅困難者・滞留者等への対応に関して、地区内で共有する『災害時の行動ルール』を策定します。

また、帰宅困難者等を地区内各施設が連携・共同して受け入れる仕組みの整備・運用を図ります。

②都市再生安全確保計画の策定

これまでの成果や検討をとりまとめ、都市再生安全確保計画の策定を進めます。

③合同防災訓練、防災講演会等の実施

災害発生時に地区全体で協力し合う意識を高めるとともに、防災エリマネ推進委員会の活動と連動、検討成果を反映しながら、地区内就業者や住民の参加による合同防災訓練を実施します。

また、意識啓発のための防災講演会等を引き続き実施します。

<参考：平成28年度訓練内容>

- ・帰宅困難者受入訓練（情報受伝達訓練を含む） ほか



< 帰宅困難者受入訓練 >

＜事業報告＞

1. みなとみらい21地区防災エリマネ推進委員会

災害時情報受伝達体制の強化、帰宅困難者対策の推進、防災意識の啓発などを中心に検討を進めている。検討成果については、3月開催予定の合同防災訓練等に反映しながら検証した。

- ・第1回委員会 7月25日（月）
- ・第2回委員会 9月23日（金）
- ・第3回委員会 10月31日（月）
- ・第4回委員会 12月12日（月）
- ・第5回委員会 1月27日（金）
- ・第6回委員会 3月17日（金）

委員会のほか、コアメンバーによる検討ワーキングも実施。

- ・第1回検討ワーキング 9月15日（木）

2. 帰宅困難者対策の推進

- ・災害時の「情報受伝達」及び「帰宅困難者対応」を地区内で連携して円滑に行うための地区内関係者が共有するマニュアルとして『災害時行動ガイド』を策定（9月）。この周知を図るため、説明会を開催（10月～11月）。
- ・また、地区内の各施設が連携・共同して帰宅困難者対策を推進するための、当地区独自の仕組みづくりとして、『みなとみらい21地区帰宅困難者一時滞在施設登録制度』を創設（12月）。3月末時点で、登録施設は10施設となっている。横浜市が『一時滞在施設』として指定していた施設と合わせて『一時滞在施設』は18施設となり、『登録制度』創設により施設数が倍増した。
 - ・さらに、横浜市と緊密に連携を図るため『災害時における施設等の提供協力に関する協定』を締結（3月）。

3. 都市再生安全確保計画の作成

- ・これまでの成果や検討をとりまとめ、都市再生安全確保計画の平成29年度内の作成を目指している。今年度は国庫補助金（内閣府）を導入して、そのための基礎調査を実施（3月）。

4. 合同防災訓練、防災講演会の実施

- ・防災講演会の開催。2月17日（金）（講師：丸の内総合法律事務所 中野明安氏）
- ・第22回みなとみらい21地区合同防災訓練の実施。3月6日（月）
帰宅困難者を複数の施設が連携して受け入れる訓練等を実施。
- ・一般の来街者等に向け『帰宅困難者支援ガイド』を作成（A2判を折り畳んでA5判、表面が災害時の注意事項・支援情報、裏面が防災マップ）（3月）

○ 来街者の利便性・快適性向上に向けた街づくり

◇みなとみらい21街づくり状況の各種調査

2,500千円

【企画調整部】

来街者調査や進出企業調査等を継続的に実施し、エリアマネジメント活動の基礎資料とします。調査にあたって、社会情勢にあわせた諸条件の見直しのための調査も行います。

＜事業報告＞

- ・今年度実施予定の来街者調査について、関係部署と調整を実施。(7月～9月)
- ・「来街者調査」及び「進出企業調査」に着手、現地調査等を実施。(10月～11月)
- ・年間来街者数等の調査とりまとめ。横浜市より記者発表。(3月7日)

◇みなとみらい21地区における交通対策等の検討

—

【企画調整部】

地区内の利便性、回遊性向上による賑わい創出等に向けた交通対策の検討を行います。

平成28年度は、27年度に横浜市駐車場条例が改正され、附置義務駐車台数緩和のための地区別基準を設けることが可能となったことを踏まえ、横浜市と連携して、当地区の基準の策定及び円滑な運用を図るための取組を進めます。

また、みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、エコ・モビリティの普及促進に向けた検討を行います。



＜ペイバイクとチョイモビ＞

＜事業報告＞

- ・条例改正を踏まえ、横浜市において当地区を対象とする附置義務駐車台数原単位緩和のための「地区別基準」が策定されたことに伴い、基準内容を地区内関係者に周知。(9月)
- ・より円滑な交通処理や利便性向上を図るため、当地区における隔地駐車場に関するルールづくりに向けた検討を実施。(10月～3月)

◇駐車場案内システム協議会の運営

—

【企画調整部】

平成27年度に引き続き、駐車場案内システムの運用を進めるとともに、協議会への参画を推進します。

＜事業報告＞

- ・第22回総会 7月28日(木)
- ・平成27年度決算報告及び平成28年度予算案について

○ 街づくりの誘導・調整、情報発信

◇みなとみらい21街づくり基本協定の運営【中央地区】

2,500千円

【企画調整部】

みなとみらい21中央地区の地権者間等で定めた土地利用、建物・屋外空間計画等の街づくりに関するルールである「街づくり基本協定」を運営し、その基本的な考えを共有するとともに、より魅力ある調和のとれた街づくりを進めます。

また、基本協定のより適切な運営や、多岐・多様なテーマに優先順位をつけながら、戦略的な街づくりを進めるための方策等の検討を行います。

<事業報告>

- ・各街区開発や暫定利用、屋外広告物等について、各種調査を実施。（4月～3月）

1 みなとみらい21街づくり基本協定締結者会議

- ・第1回締結者会議 5月12日（木）
 - ・みなとみらい21街づくり基本協定の改定（第8条都市管理項目）

2 みなとみらい21街づくり基本協定運営委員会

- ・第1回委員会 5月12日（木）
 - ・46街区（仮称）横浜野村ビル
コモンスペースのしつらえ・内容、外構・植栽計画、パブリックアートについて
 - ・56-2街区（仮称）グローバルイノベーションセンター
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
 - ・59街区A（仮称）オーケーみなとみらい本社ビル開発計画
サイン計画（ビルサイン以外）、パブリックアートについて
 - ・グランモール公園の再整備工事スケジュールについて
 - ・みなとみらい21中央地区20街区MICE施設整備事業について
- ・第2回委員会 7月4日（月）
 - ・55-2街区 横浜歯科技術専門学校MM55-2街区計画
アクティビティフロアのしつらえ・内容、サイン計画について
 - ・横浜市駐車場条例施行規則・取扱規準の改正に関する意見募集について
 - ・新高島駅1番出口周辺 暫定歩行者通路閉鎖について
 - ・第33回全国都市緑化よこはまフェアについて
 - ・にしく打ち水大作戦2016について
- ・第3回委員会 10月7日（金）
 - ・18、22街区 パシフィコ横浜 コージェネレーションシステム導入について
 - ・32街区（仮称）みなとみらい21 32街区プロジェクト
[住宅棟]アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容について
[事務所棟]アクティビティフロア・コモンスペースのしつらえ・内容、
夜間照明計画について
 - ・46街区（仮称）横浜野村ビル
アクティビティフロアのしつらえ・内容、サイン計画、夜間照明計画について
 - ・56-2街区（仮称）グローバルイノベーションセンター
工事計画、仮囲いデザインについて

- ・ 59 街区 B (仮称)MM5 9 街区 B 区画開発計画
アクティビティフロア・COMMONスペースのしつらえ・内容、サイン計画、パブリックアート、夜間照明計画(外構部)について
- ・ 暫定土地利用に関する規準の運用について
 - (1) 既設の建物の来年度(平成 29 年度)以降の運用方針について
 - (2) 新設の建物の今後の運用方針について
- ・ 5 7 街区 みなとみらい本町小学校 工事計画について
- ・ 第 5 0 回アジア開発銀行年次総会横浜開催について
- ・ 第 4 回委員会 12 月 16 日(金)
 - ・ 32 街区 (仮称)みなとみらい 2 1 32 街区プロジェクト
[事務所棟]外構・植栽計画、夜間照明計画(建物外装を除く)について
 - ・ 56-1 街区 (仮称)京急グループ本社ビル
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
 - ・ 47 街区 敷地分割について
 - ・ 60、61 街区 敷地分割について
 - ・ 61 街区 木下サーカス横浜公演について
 - ・ みなとみらい 2 1 中央地区みなとみらい 4 号線植栽工事(その 2)について
 - ・ 新高島駅 4 番出口周辺暫定歩行者通路閉鎖について
 - ・ 都心臨海部の緑花による賑わいづくり(横浜みどりアップ計画)について
 - ・ 全国都市緑化よこはまフェア グランモール公園の会場設営について
 - ・ 横浜都心部コミュニティサイクル事業で使用する自転車への車体利用広告物掲出について
- ・ 第 5 回委員会 3 月 6 日(月)
 - ・ 20 街区 MICE 施設整備事業
20 街区 ホテル施設整備事業
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
 - ・ 54 街区 (仮称)MM2 1-5 4 街区プロジェクト
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
 - ・ 61 街区 横浜アンパンマンこどもミュージアム&モール移転プロジェクト
街づくり行為に係る行政手続きの開始について
 - ・ 44 街区 敷地分割について
 - ・ 26 街区 クロスゲート壁面 懸垂幕について
 - ・ 第 5 0 回アジア開発銀行年次総会横浜開催について

3 みなとみらい 2 1 街づくり基本協定運営委員会 専門部会

みなとみらい 2 1 街づくり基本協定第 12 条暫定土地利用はじめとした運用の方向性、賑わい形成のあり方等について討議。

- | | |
|-------------------------|--------------------------|
| ・ 第 1 回専門部会 4 月 23 日(木) | ・ 第 7 回専門部会 10 月 27 日(木) |
| ・ 第 2 回専門部会 5 月 28 日(木) | ・ 第 8 回専門部会 11 月 24 日(水) |
| ・ 第 3 回専門部会 6 月 23 日(木) | ・ 第 9 回専門部会 12 月 22 日(木) |
| ・ 第 4 回専門部会 7 月 28 日(木) | ・ 第 10 回専門部会 1 月 26 日(木) |
| ・ 第 5 回専門部会 8 月 25 日(木) | ・ 第 11 回専門部会 2 月 23 日(木) |
| ・ 第 6 回専門部会 9 月 15 日(木) | ・ 第 12 回専門部会 3 月 23 日(木) |

■ 平成 28 年度件数実績

(1)承認通知書発行件数

・街づくり行為 15 件

(2)暫定土地利用

・申請件数 1 件

・届出件数 39 件

(3)屋外広告物

(テナントサイン等)

・申請件数 1 件

・届出件数 68 件

(4)屋外広告物（バス停、パシフィコ横浜、その他）

・バス停広告 125 件

・動く歩道横断幕 34 件

・動く歩道フラッグ 97 件

・クイーンズ橋フラッグ 29 件

・その他 124 件

(街灯フラッグ、MM 駅連絡地下通路広告、案内広告 等)

◇「みなとみらい 21 インフォメーション」等の改訂

3,500 千円

【企画調整部】

企業誘致や様々な視察対応等に備え、当地区の計画概要等をまとめた「みなとみらい 21 インフォメーション（冊子及び映像）」等を制作します。前年度に内容を刷新した冊子の改訂を行うほか、平成 28 年度は映像を抜本的に改定します。また、マスタープランのデータ更新等を行います。

<事業報告>

- ・今年度の構成内容について関係部署と調整、制作着手。（4 月～9 月）
- ・DVD の内容を刷新することとし、制作着手（4 月）。新たな撮影等（6 月～2 月）。
- ・「みなとみらい 21 インフォメーション（冊子、DVD）」制作完了。（3 月）

◇エリアマネジメント活動助成事業

2,500 千円

【事業推進部】

当地区内でエリアマネジメントに資する活動を行う団体を募集し、有識者による選考委員会と会員企業による公開選考委員会の審議を経て、資金を助成する活動団体を決定し、助成します。最大 50 万円まで助成可能な「みらいコース」とより応募し易い最大 5 万円までの小額助成コース「みなとコース」を設け、新規応募者の開拓を進めています。平成 27 年度にリニューアルしたホームページのコンテンツを充実させ、応募件数の増加をはかります。

また、平成 27 年度採択した助成団体が活動成果について発表し、相互に交流するための場として、助成活動成果報告会を開催します。

<参考：28 年度 助成団体と提案概要>

◆ みらいコース

事業名	内容
住民主体によるポニーイベントの開催	住民によるポニーとのふれあいによる動物介在幼児教育を実施
第三世代が考えるヒロシマ「」継ぐ展 2016	ヒロシマの戦争パネル展と仮想空間アプリの「とうろう流し」等を実施
ヨコハマ・フットボール映画祭 2017	サッカー映画を募集した映画祭と障害者サッカー体験会等の実施
チョークで街に絵を描こう@みなとみらい	公開空地を活用した参加型チョークアートイベントの実施
みなとみらいの食と人をつなぐプロジェクト 2016	料理教室を通じて地域コミュニティを形成する事業の実施

<事業報告>

- ・平成28年度第1次募集 みらいコース（上限50万円）5件の活動に対し、助成金2,032千円を交付（4月、6月）
- ・平成27年度エリマネ助成事業活動報告会を開催（5月）
- ・平成29年度募集実施（12月1日（木）～1月20日（金））
- ・平成29年度募集公開選考会を実施（3月）
- ・平成29年度に向け、ホームページをリニューアル（3月）

◇街づくり調整委員会（部会）の開催

50千円

【企画調整部】

新港地区、中央地区、横浜駅東口地区それぞれの開発の経緯や背景等の地区特性を尊重し、街づくりの方向性や課題、その対応策を検討する場として、街づくり調整委員会及び街づくり調整部会を開催します。

<事業報告>

1 街づくり調整委員会

- ・第1回委員会 11月18日（金）
 - ・平成28年度上半期の事業執行状況及び今後の予定について
- ・第2回委員会 3月14日（火）
 - ・平成29年度事業計画（案）について

2 街づくり調整部会

- ・第1回部会 7月19日（火）（環境対策部会と合同で開催）
 - ・今年度の街づくり調整委員会・街づくり調整部会の体制、スケジュール（案）、主な取組項目について
 - ・地震対策の推進について
 - ・水環境向上及び生物多様性に関する取組について
 - ・アースアワーについて
 - ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランについて

○ みなとみらい21地区の土地の公募業務

◇土地公募業務

1,000千円

【企画調整部】

当地区における横浜市所有の土地について、横浜市から開発事業者公募の業務を受託し、事務局としての業務とともに、誘致促進に向けた開発事業者への募集説明会を開催します。

<事業報告>

- ・横浜市から、43、53、55-1街区の開発事業者公募業務を受託し、開発事業者募集説明会を開催（8月）するとともに、ホームページに公募情報を掲載

- ・ 55-1 街区への 3 件の提案内容について調査分析を行い、横浜市に報告（11 月）
- ・ 横浜市から、58、60・61・62 街区の開発事業者公募業務を受託し、開発事業者募集説明会を開催（2 月）するとともに、ホームページに公募情報を掲載
- ・ 43 街区への 1 件の提案内容について調査分析を行い、横浜市に報告（2 月）

環境対策事業

18,000 千円

みなとみらい21地区における業務・商業活動等を通じて、地球温暖化対策、循環型社会形成、生物多様性といったさまざまな環境問題に関し、ハード面からソフト面まで幅広く多様な活動を展開し、環境未来都市としての取組を推進します。

○ 環境未来都市の実現に向けた取組

みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、プロジェクトチームの運営など、地区内関係者や横浜市・大学などと連携して、環境未来都市の実現に向けた取組を推進します。

また、この地区における環境への取組について、積極的に情報発信を行います。

◇みなとみらい2050プロジェクト推進体制の運營業務

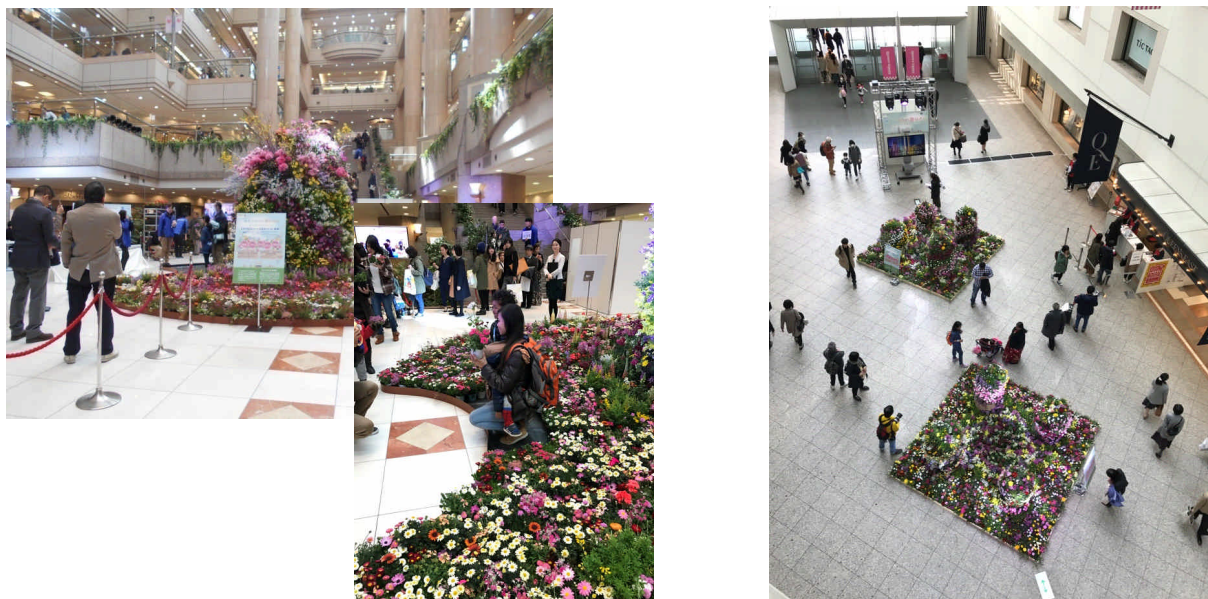
8,000 千円

【企画調整部】

みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを踏まえ、『エネルギー』、『グリーン』、『アクティビティ』、『エコ・モビリティ』の各分野のプランの実施やプロジェクトチームの運営など、地区内関係者や行政・大学等の関係者と連携して取組を推進します。

＜事業報告＞

- ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランを推進するため、昨年度から、「グリーン」、「イベント」、「ICT」、「エコ・モビリティ」「エネルギー」のテーマごとに5つのプロジェクトチームを設置し、地区内関係者と行政等の協働による検討を実施（5～3月）
- ・これまでの検討を踏まえ、プロジェクトごとに具体的な取組を行うため、各チームの今年度の方向性と目標についてとりまとめ、環境対策部会・街づくり部会の合同部会に報告（7月）
- ・さらに、プロジェクトチームごとに議論を進め、今年度内の具体的なアクション・情報発信に向けた企画内容を取りまとめ（～11月）
- ・各プロジェクトチームの検討に基づき、具体的な取組を実施（～3月）
 - ・「グリーン」：全国都市緑化よこはまフェア開催に併せ、当地区における「緑・花」環境のさらなる充実の契機とするフラワーイベント「みなとみらい花ひろば」を横浜ランドマークタワーとクイーンズスクエア横浜の2カ所で3/17～3/20に実施。小学生や一般の来街者の参加による花の飾りつけ、フラワーポットを来街者にプレゼント、イベント終了後、小学校、保育園、地区内施設にポットを配送等。
 - また、継続的に「緑・花」環境の充実に取り組みやすい仕組みを検討（～3月）
 - ・「イベント」：「海」「夜景」「光」など当地区の魅力を情報発信しながら、幅広く市民・就業者が参加できる「環境」をテーマとするイベント「みなとみらいライト・ペインティング」を実施（2～3月）
 - ・「エコ・モビリティ」：パーソナルモビリティを使用する実証実験「ヨコハマ未来モビリティショーケース」を実施し、歩行者空間における走行の安全性等を検証（1～3月）



＜フラワーポットイベント：横浜ランドマークタワー、クイーンズスクエア横浜＞

◇水環境向上及び生物多様性に関する取組

6,000 千円

【企画調整部】

平成 26 年 3 月から「きれいな海づくり」を目指し、横浜市やNPO法人と連携して自動車道沿い護岸に「実験場」を設置し、水質浄化及び生物多様性に関する取組を進めています。

水質の改善やアマモの発芽・育成、生物の生息種類数の増加等が確認され、本事業の成果が徐々に顕れてきており、展示会での情報発信も行っています。

28 年度は、引き続き、生物生息環境の保全、生物多様化・水質改善状況等の観測を続け、地区内外への周知・啓発を進めるとともに、事業の成果等を積極的に情報発信していきます。

また、今後の本取組の拡充・展開方策についても関係者と連携して検討・調整を進めます。



＜水環境向上・生物多様性観察会＞

＜事業報告＞

- ・自動車道沿いに設置した実験場においてアマモの移植を実施し、水質及び生物生息状況を観察会で計測（7 月 7 日、8 月 16 日）
- さらに、会員参加の下、アマモの追加の移植及び播種を実施（10 月 13 日）

- ＊平成 26 年 3 月に実験場を設置。アマモについては、26 年から 3 か年にわたり、発芽・生育を確認。また、生物生息数については、実験場を設置した当初は 14 種類であったが、平成 27 年 8 月の観察時点では 35 種類にまで増加するなどの成果を確認。平成 28 年 8 月の観測では天候不順等の影響から 32 種類となったがアマモの周囲にアミメハギ等の魚の寄付きを確認。
- ・取組状況をウェブサイトにて情報発信（10 月～）
- ・アマモの生育状況及び水質、生物生息状況を計測（3 月 14 日）

◇『緑・花』推進に関する取組

1,000 千円

【企画調整部】

グランモール公園再整備については、平成 30 年春に本格供用開始が予定されていますが、環境未来都市にふさわしい発信力のある公園となるよう、また、この間の平成 29 年春に開催が予定されている全国都市緑化よこはまフェアに向けて、効果的な連動が図られるよう、引き続き調整を図ります。

また、みなとみらい 2050 プロジェクト・アクションプランを踏まえ、「まちかどの緑」プロジェクトの実施調整等を進めます。

＜事業報告＞

- ・グランモール公園の再整備について、サイン計画、工事計画等の調整実施（7 月～9 月）
- ・「企業協賛花壇」プロジェクト実施に向け、関係者と協議・調整し、さくら通りやクイーンモール橋にて植栽を施行（4 月～2 月）
- ・みなとみらい 2050 プロジェクト アクションプランを踏まえ、「グリーン」プロジェクトチームの運営を行いながら、地区内の「緑・花」の充実に向けた取組を推進
- ・全国都市緑化フェアの実施内容について協議・調整（5 月～3 月）

◇地域緑のまちづくり事業

500 千円

【企画調整部】

みなとみらい 21 地区にふさわしい緑化等を地域ぐるみで進めるため、横浜市からの助成を受け、中央地区、新港地区及び横浜駅東口・中央地区の 3 地区において協議会を立ち上げています。引き続き各協議会において、地域緑化計画に基づき、公共施設緑化及び民有地緑化整備を進めます。

また、平成 28 年度は、グリーンガイドツアーを実施するなど、前年度発行の地区内の植物をはじめ各種の生物の状況を紹介する冊子『水と緑の生き物のガイドブック』の活用を進めます。

＜参考＞

- | | | |
|----------|-----------|-----------------------|
| ・24 年度設立 | 中央地区 | グランモール公園を中心とした緑化計画 |
| ・25 年度設立 | 新港地区 | 新港中央広場を中心とした新港地区の緑化計画 |
| ・25 年度設立 | 横浜東口・中央地区 | みなとみらい大橋等の緑化計画 |

＜事業報告＞

1 総会

- ・3地区各協議会の総会を開始し、昨年度に実施の事業内容を報告、今年度以降実施予定の事業計画について説明
- ・みなとみらい21中央地区 緑のまちづくり協議会 第4回総会（4月25日）
- ・みなとみらい21横浜駅東口・中央地区 緑のまちづくり協議会 第4回総会（6月21日）
第5回総会（書面開催 11月）
- ・みなとみらい21新港地区 緑のまちづくり協議会 第6回総会（6月21日）

2 生物実態調査について

- ・実態調査を踏まえ、当地区における生物生息状況と生物多様性を図るための方策等を掲載したガイドブック（平成28年3月作成）に基づき、小学生を対象とした観察会（こどもアドベンチャー2016）を実施。（8月17・18日）



＜こどもアドベンチャー2016「みなとみらいで生き物さがし！」＞

○ 環境意識の啓発に向けた取組

◇身近なエコ活動の実施、検討

2,400千円

【企画調整部】

みなとみらい21地区ならではの特色があり、多くの会員が参加できるイベント等の各種活動を展開します。

また、みなとみらい21リサイクル推進協議会と連携し、古紙共同回収に積極的に取組、省資源化活動を推進していきます。

平成28年度は、みなとみらい2050プロジェクト アクションプランのプロジェクトチームでの検討成果も踏まえ、「アースアワー」への参加によるライトダウン活動や会員企業が身近に取り組める活動を地区全体として推進するなど、環境意識の向上を図ります。

＜事業報告＞

1. ライトダウンキャンペーンへの参加

- ・地区内の施設にライトダウンキャンペーンへの参加を呼び掛け、一斉消灯に参加（7月）

2. みなとみらい21地区リサイクルシステムのあり方検討

- ・みなとみらい21リサイクル推進協議会 第1回幹事会（8月1日）
当地区で実施してきたリサイクルシステム（古紙の共同回収事業）について、社会状況の変化を踏まえた今後のあり方について検討。
- ・みなとみらい21リサイクル推進協議会 第2回幹事会（9月20日）
廃棄物関連の各種法令が整備され、リサイクルについて各事業者責任が明確となったことや、来年度末（平成30年3月）に真空集塵システムが廃止されることなど、リサイクル推進協議会を設立した当時と比べ社会状況が大きく変化し、単独・共同回収処理の差異がなくなったこと等により、共同回収事業の年内終了及び協議会の解散を確認。
- ・みなとみらい21リサイクル推進協議会 第3回幹事会（3月1日）
 - ・第18回総会 付議事項等について
- ・みなとみらい21リサイクル推進協議会 第18回総会（3月15日）

3. アースアワーへの参加

- ・「アースアワー2017」実施に向けて主催者であるWWFジャパン、及び横浜市関係部署をはじめ、周辺事業者と協議し、桜木町駅前広場にてイベントを実施（3月25日）

◇環境対策委員会（部会）の開催

100千円

【企画調整部】

当地区の環境対策（地球温暖化対策等）を議論し、課題への対応などを検討する場として、環境対策委員会及び環境対策部会を開催します。

<事業報告>

1 環境対策委員会

- ・第1回委員会 11月18日（金）
 - ・平成28年度上期の事業執行状況及び今後の予定について
- ・第2回委員会 3月14日（火）
 - ・平成29年度事業計画（案）について

2 環境対策部会

- ・第1回部会 7月19日（火）（街づくり調整部会と合同で開催）
 - ・今年度の街づくり調整委員会・街づくり調整部会の体制、スケジュール（案）、主な取組項目について
 - ・地震対策の推進について
 - ・水環境向上及び生物多様性に関する取組について
 - ・アースアワーについて
 - ・みなとみらい2050プロジェクト・アクションプランについて

◇地区内の清掃活動の実施

—

【事業推進部】

当社団が事務局となり、周辺事業者及び住民等の参加を得て毎月1回、ハマロードサポーター制度を利用した「桜木町駅前広場」の定期清掃（参加者数概ね15名）、みなとみどりサポーター制度を活用した「赤レンガパーク、運河パーク、カップヌードルミュージアムパーク」の定期清掃（参加者数概ね15名）、公園愛護会制度を利用した「グランモール公園」の定期清掃（参加者数概ね150名）を実施します。



＜ 運河パークでの定期清掃の様子 ＞



＜ グランモール公園での定期清掃の様子 ＞

＜事業報告＞

- ・ 桜木町駅前広場の定期清掃を実施。（毎月第1水曜日）
- ・ 新港地区の3公園（赤レンガ、運河、カップヌードルミュージアム）の定期清掃を実施。（毎月第2水曜日）
- ・ グランモール公園の定期清掃を実施。（毎月第3火曜日）

文化・プロモーション事業

42,480 千円

みなとみらい21地区の状況や地区内で行われている活動等について、地区内外に情報発信すると共に、地区内の賑わい創出を促進し、街のイメージや魅力の向上を図ります。

○ 情報発信

◇インバウンド（訪日外国人）対応

5,000 千円

【事業推進部】

訪日外国人旅行者数の増加、2020年東京オリンピック・パラリンピック開催等の状況を踏まえ、シンクタンクにコンサルティングを依頼し、ホスピタリティ向上部会を再編します。地区内各施設と協議しながら、パシフィコ横浜で行われる MICE や訪日インバウンド旅行者に対応したアクションプランを策定、実行して参ります。

<事業報告>

- ・インバウンドミーティング（4月15日）
YMMが主催者として参加施設を募集、JTB総研をコンサルとした部会（ワーキンググループ）を再編
アクションプラン策定に向けた検討課題について協議
- ・第1回部会（6月22日）
目指すべきゴールと重要課題の共有、インバウンド概況、エリア分析について
- ・第2回部会（7月27日）
重要課題4視点（情報基盤、情報発信、多言語対応、ホスピタリティ教育）についてのディスカッション
- ・第3回部会（8月24日）
情報基盤の取り組みについて：NTTによる事例発表
施設別の課題・問題点の把握とそれに対する取組みたいことの確認について
- ・第4回部会（9月27日）
MM21地区における外国人のフィールドワーク調査について
及び調査結果に対する各施設の意見・感想取りまとめ
- ・第5回部会（10月26日）
アクションプランの目的・内容の検討
MM21地区における魅力再発見と情報発信についてのディスカッション
- ・パシフィコ横浜の MICE（7月24日～29日）訪日外国人を対象とした「和のおもてなし」イベントを開催
- ・赤レンガ倉庫での外国人アンケート調査実施（2月11日）
- ・部会での意見を集約したアクションプランの策定及び来期の活動内容について（3月22日）

◇ウェブによる情報発信

6,400 千円

【 事業推進部・企画調整部 】

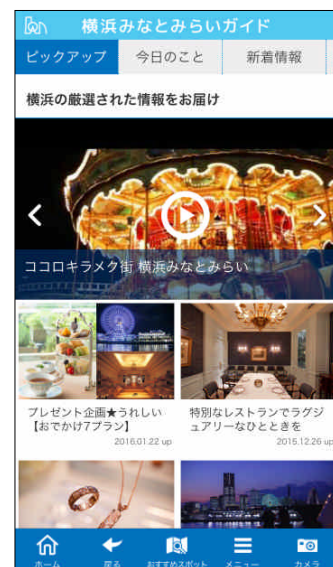
平成 26 年度にフルリニューアルした「みなとみらい 21 公式ウェブサイト」について、良く見られる記事の分析や PC とスマホでの情報の棲み分けなどを行い、主要な情報発信ツールとして更に強化して行くと共に、動画コンテンツの更なる活用を図ります。また、平成 26 年度に制作した「YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ」のダウンロードを促進します。

前年度にリニューアルした「みなとみらい 21 地区街づくりサイト」の情報も充実させ、街の魅力を多面的に発信して参ります。

訪日外国人向けの英語サイトについて、他事例を参考にしながら内容を充実させて参ります。



＜ みなとみらい 21 公式ウェブサイト ＞



＜ YOKOHAMA MINATOMIRAI GUIDE アプリ ＞

＜事業報告＞

- ・公式ウェブサイト維持管理
- ・みなとみらいエリアアプリ管理（ランニング）
- ・英語サイト作成に向けた掲載内容の確定（3 月）
- ・街づくりサイトのコンテンツ追加の実施（3 月）
- ・これまでの英語サイトを正式なインバウンド向けサイトとして立ち上げ（3 月）

◇広報誌による情報発信

6,000 千円

【 事業推進部 】

- ・社団タイアップページ買い取り

平成 28 年度も、街のフリーマガジン『mirea（ミレア）』（「みなとみらい 21 SP 推進委員会」にて制作費一部負担）のページを買い取り、地区内の施設やエリアでの過ごし方などの情報を発信します。



＜フリーペーパー mirea＞

＜事業報告＞

- ・『mirea』に下記のとおりタイアップ記事を掲載。（隔月 15 万部発行）

5 月号／特集 心地いい時間が流れる場所へ

ホテルラウンジ、カフェ等初夏に合う場所を紹介

7 月号／特集 夏のわたしの便利帖

夏の横浜で楽しく過ごすためのモノ・コトを紹介

9 月号／特集 秋っぽいことしよう

自分磨きの学び、おしゃれ、グルメなど秋を紹介

11 月号／特集 つどいぬくもる

パーティーシーンでの仲間たちとの楽しみ方を紹介

1 月号／特集 ちょっといい時間探し

新年を迎えて新鮮な気持ちで過ごすためのモノ・コトを紹介

3 月号／特集 明るい日差しの中へ

春～初夏にかけての季節に行くべきお出かけスポットを紹介

◇PR活動の実施

2,500 千円

【事業推進部】

平成 28 年度も、広域からの来街誘引を図るべく、夏休み・クリスマス時期に、ポスターやチラシ等の広報 PR 情報について、都内を中心とする交通系メディアの活用に取り組みます。また、季節を通じ街の魅力を発信すべく、観光用動画の製作も行って参ります。

新たな取組として、街ならではの「お土産」を発掘すべく、試験的に募集販売を行い、ニーズを調査して参ります。

＜事業報告＞

- ・ニュースリリース、ニュースレターを発行（随時）
- ・夏のイベント特集ポスターを東急電鉄に掲出（8月）
- ・東口地区連携強化のため、新規SP会員PR（ミレア掲載）を実施（9月）
- ・クリスマスの地区PR用ポスターボード掲出：渋谷駅BIG8（12月）
- ・観光客に向けたPR動画の作成（YMMのHPで紹介）（3月）
- ・MM21地域特性を活かしたおみやげの企画の試行としてPRグッズを作成（3月）

◇地区プロモーションの調整

6,000 千円

【事業推進部】

多様な集客施設が集積するみなとみらい21地区の魅力を面的に訴求する活動を継続し、集客エリアとしての当地区の競争力を維持・向上することを目的に、平成28年度も引き続き「みなとみらい21SP推進委員会」に参画し、来街者に向けた地区プロモーションを行います。

＜事業報告＞

- ・みなとみらい21SP推進委員会に参画（毎月）

○ 賑わいの創出

◇公共空間の利活用

6,330 千円

【事業推進部】

平成25年度に発足した「みなとみらい21公共空間活用委員会」により、平成28年度も、公開空地や桜木町駅前広場、グランモール公園でのオープンカフェや各種イベントを実施して行くと共に、グランモール公園では、平成26年度試験的に実施した「グランモール公園緑市」を引き続き実施します。

また、ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する取り組みとしてクイーンズサークルで実施している「みなとみらいSTREET MUSIC」では、今年度は、「横浜音祭り」と連携したイベントや、実施場所をグランモール公園にも広げて実施していきます。さらに出演者自ら運営し実施できる方法を、引き続き検討し確立していきます。



＜ みなとみらいストリートミュージック ＞



＜ みなとみらいストリートミュージック
in 桜木町 ekihiro ＞

＜事業報告＞

- ・みなとみらい21公共空間活用委員会を開催し、オープンカフェなど公共空間の利活用を促進（6月、9月、2月）
- ・ストリートミュージシャンに演奏の場を提供する事業として、次の「みなとみらい STREET MUSIC」を開催
 - ・「みなとみらい STREET MUSIC」（7月、9月、12月、3月）
 - ・出演者による自主運営ライブ 「Good Sound Live」（6月、8月、1月）
 - ・出演者による「完全自主」ライブ（5月、2月、3月）
- ・「みなとみらい STREET MUSIC スペシャル版」として、地区イベント「桜木町 ekihiro ライブ」を「横浜音祭り」と連携し実施（11月5日）し、また「桜木町 ekihiro クリスマスライブ」を実施（12月23日）（※地区イベントにて再掲）
- ・グランモール公園美術の広場において、地元の名産品や食品、手作りのアクセサリ・雑貨や工芸品などの物販と、音楽ライブを行う「グランモール公園縁市・クリスマスマルシェ」を開催（12月3日、4日）

◇地区イベントの開催

9,700 千円

【 事業推進部 】

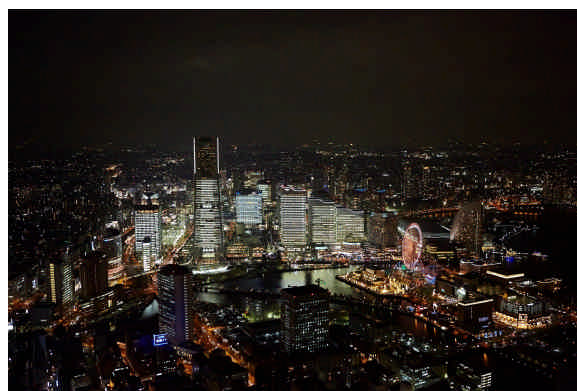
毎年恒例の「ヨコハマ大道芸」を4月に開催すると共に、春のさくらフェスタ、夏の大盆踊りに引き続き参画し、地区内の季節の風物詩としての定着を支援し、今年度より、グランモール公園夏祭りにも参画します。

また、12月の「TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ～」開催について、参加施設と協議しながら進めます。

また、当地区内各エリアでの賑わい創出のため、桜木町駅前広場活性化委員会、新港地区賑わいづくり委員会に積極的に参画します。



＜ヨコハマ大道芸 2016 in みなとみらい21＞



＜TOWERS Milight ～オフィス全館ライトアップ＞

＜事業報告＞

- ・「みなとみらい21 さくらフェスタ 2016」に参加。（3月26日～4月3日：来場者 68,309人）
- ・「ヨコハマ大道芸 2016 in みなとみらい21」を開催。（4月16日、17日：来場者 540,000人）
- ・桜木町駅前広場活性化委員会にて「桜木町 ekihiro サマーライブ」（7月16日：観客数 700人）、「横浜音祭り」と連携し「桜木町 ekihiro ライブ」（11月5日：観客数 500人）、「桜木町 ekihiro クリスマスライブ」（12月23日：観客数 500人）を実施（「自由演奏会」（3月）は雨天中止）（※公共空間の利活用にて再掲）
- ・「グランモール公園夏祭り」に参加（7月）
- ・「みなとみらい大盆踊り」に参加（8月12日、13日：来場者 17,500人）
- ・クリスマスイベント（TOWERS Milight～オフィス全館ライトアップ）を開催（12月22日）
- ・新港地区賑わいづくり委員会主催「ベイサイドビューポイントラリー」に参加（平成 29年3月18日～4月9日）

○ その他

◇歩行者案内地図サインの更新

500 千円

【 総務部 】

当地区には、案内地図サインが 70 基設置されていますが、新規施設オープンに伴い、桜木町駅前広場等の案内地図サインの更新を行います。

＜参考＞

- ・横浜市管理の地区内案内地図サイン 59 基
- ・当社团管理 5 基
- ・その他の民間施設等管理 6 基

＜事業報告＞

- ・当社团及び民間施設等で管理している案内地図サインを更新（9月）

◇文化・プロモーション委員会等の運営

50 千円

【 事業推進部 】

当地区のPRや公共空間利活用等の事業に関する情報共有や意見交換を目的として年2回開催します。

＜事業報告＞

1 文化・プロモーション委員会

- ・第1回委員会 11月16日（水）
インバウンド、ウェブサイト・アプリ、公共空間活用、みなとみらいかもめスクール、エリアマネジメント活動助成事業、地区イベントについて
上記委員会終了後に会員懇親会開催

- ・第2回委員会 3月17日（金）
冬季クリスマスイベント、PR活動の実施報告
来期の活動方針の説明

◇イベント連絡会の開催

【事業推進部】

商業施設、ホテル、文化施設など、地区内の各集客施設が情報を共有し、相互連携を図るための場として、毎月1回、イベント連絡会を開催します。

<事業報告>

- ・地区内のイベント等について連携・情報を共有（毎月1回）

◇インフォメーション担当者意見交換会

【事業推進部】

施設の案内受付担当者が、情報交換を行うための場として、定期的にインフォメーション担当者意見交換会を開催します。28年度は、前年度製作した外国人来街者用「指差しシート」の使用状況も確認して参ります。

<事業報告>

- ・当地区に関係の深い横浜市実施事業や地区内催事などの情報を共有する会議を開催（3ヶ月に1回）

会員交流事業

6,350 千円

会員相互の交流を促進し、新たなネットワークやエリアマネジメント活動を活性化するための取組を実施します。また、会員や就業者等の声を聴取し、エリアマネジメント活動に役立てていきます。

◇地区内情報等の提供

50 千円

【 総務部 】

地区内で行われるイベントやそれにとまなう交通規制、各種工事、防災・防犯、行政機関からの情報など、みなとみらい21地区に関連する様々な情報を会員及び施設設置者連絡会の参加企業に随時提供します。

また、必要に応じて地区内全体への周知を行うため、施設設置者連絡会を開催し、より詳細な情報等を提供します。

<事業報告>

- ・大規模イベントによる交通規制や地区内イベント情報、当法人の事業関連情報等を会員へ提供（随時）

◇会員相互交流の機会の創出

2,300 千円

【 総務部 】

会員企業・団体のネットワーク形成や職員間の交流促進を図ることを目的に、みなとみらい21 賀詞交換会や救命講習会等を開催します。



< みなとみらい21 賀詞交換会の様子 >

<事業報告>

- ・普通救命講習会を実施（11月1日(火)、13日(火)の全2回。）
- ・会員間の交流やネットワークをつくる機会として、みなとみらい21 賀詞交換会を開催（1月18日（水））

◇みなとみらいかもめ SCHOOL

4,000 千円

【 事業推進部 】

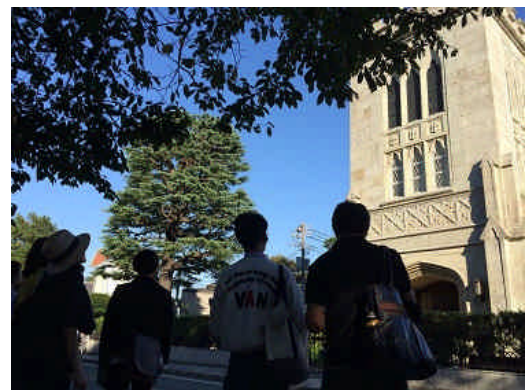
みなとみらい21地区内の就業者を対象として、春学期（4～6月）と秋学期（9～11月）の年2回、就業前あるいは後の時間帯に手軽に学べる場を提供します。平成28年度もより多彩な講座を新設し、魅力あるスクールを実施します。

<参考：秋学期講座内容>

かもめスクール 講座 名	
01 続・横浜の歴史を知ろう！ ～横浜市内の旧東海道、武相国境をたどる～	08 野毛探訪講座 ～「野毛ハロウィン」にくりだす～
02 「都市デザイン」って何！？～山手の洋館編～	09 フィットネスクラブMM Beginでお試し！ YOGAで筋膜リリース
03 JICA横浜で世界と出会う！ 異文化交流会&国際協力・多文化共生を学ぶ	10 バーの楽しみ方と洋酒の基礎知識
04 「聴く」コミュニケーションを活かそう！ ～「聴く力」と人間関係～	11 SPRING VALLEY BREWERYでクラフトビールを楽しもう！
05 これであなたも経済の今がわかる！ ハマのマネーコンシェルジュによる「金融入門講座」	12 天空の茶室でお茶体験
06 気軽に参加してみよう！「みなとみらい読書交流会」	13 「シネマ×パイプオルガン～オペラ座の怪人～」 鑑賞とオルガン・レクチャー
07 忙しい日々でも女子力UP！ 「BUKATSUDO」メイクアップレッスン	14 「横浜にぎわい座」の落語会に行こう！ 落語の楽しみ方、お教えします！



< 講座：SPRING VALLEY BREWERYで
クラフトビールを楽しもう！>



< 講座：「都市デザイン」って何！？～山手の洋館編～>

<事業報告>

- ・みなとみらいかもめスクール（春学期）全17講座の実施（4月～7月）申込216人
- ・みなとみらいかもめスクール（秋学期）全14講座の実施（9月～11月）申込122人
- ・平成29年度かもめスクール講座内容の検討（11月～1月）
- ・平成29年度かもめスクール募集開始（2月）

横浜都心電波対策事業

30,050 千円

みなとみらい21地区および関連開発地区における建物建設に伴う周辺市街地のテレビ電波障害対策を実施するとともに、「横浜都心電波対策協議会」の事務局の運営を行います。

◇電波障害対策事業の実施

25,550 千円

【企画調整部】

建物建設に伴うテレビ電波障害対策として、電波障害シミュレーションを行うとともに、事前・中間・事後の実態調査（電波障害受信状況調査）を行い、障害エリアを特定し電波障害対策工事等を実施します。

- ・新規街区開発に伴う電波障害シミュレーション及び実態調査（電波障害受信状況調査）
56-2 街区ほかの電波障害シミュレーション及び 46 街区、56-2 街区ほかの実態調査
- ・新規街区開発等に伴う電波障害対策工事等
46 街区、56-2 街区ほか

<事業報告>

- ・46 街区電波障害中間調査の実施（4 月～5 月）
- ・56-2 街区電波障害シミュレーションの実施（6 月～8 月）
- ・継続電波障害対策の実施（8 月）
- ・46 街区事後、56-2 街区事前調査の実施（10 月～1 月）
- ・46 街区、56-2 電波障害対策工事等（1 月～3 月）
- ・公園用地内既存施設撤去に向けた調整（～3 月）

◇横浜都心電波対策協議会負担金

4,500 千円

【企画調整部】

「横浜都心電波対策協議会」の事務局運営経費として負担金を支出します。

「協議会」の事務局運営として、新たな街区開発の案件が生じた場合は、開発者負担金を確定するとともに、開発者負担金の取扱いについては、引き続き協議を進めます。

その他、基本協定及び協議会の運営に関連して発生する事項に対応します。

<事業報告>

1 総会・代表者会

- ・第 20 回総会・第 32 回代表者会 6 月 13 日（月）
 - ・平成 27 年度事業報告及び決算・会計監査報告について
 - ・開発者負担金の取扱いについて

2 運営委員会

- ・第 1 回運営委員会 5 月 24 日（火）
 - ・平成 28 年度運営委員会委役員の選出について

- ・電波障害対策に関する協定書の見直しについて
- ・第20回総会・第32回代表者会への付議事項について
- ・第2回運営委員会 9月1日（木）
 - ・みなとみらい21地区56-2街区「(仮称) 資生堂グローバル・イノベーションセンター計画の件」電波障害対策範囲策定調書（案）・開発者負担金算定調書について
- ・第3回運営委員会 3月21日（火）
 - ・平成29年度事業計画（案）について

3 専門部会

- ・第1回専門部会 5月17日（火）
 - ・開発者負担金の取り扱いについて
- ・第2回専門部会 1月26日（木）
 - ・公益信託について
- ・第3回専門部会 3月3日（金）
 - ・公益信託について
- ・第4回専門部会 3月23日（木）
 - ・公益信託について

（ ◆横浜都心電波対策協議会の運営補助業務 ）

—

広告・イベントスペース等の運用事業

62,000 千円

◇公有財産及び広告・イベントスペースの運用

62,000 千円

【 総務部 】

「クイーンズスクエア横浜 専有クイーンモール」等について、店舗や広告、イベントスペースとして貸し付け、快適で賑わいのある空間を創出するため、その利用権等を横浜市から借り受けます。「みなとみらいギャラリー」については利用者へのノウハウの提供や、円滑な貸し出しを行うため、その運営を外部へ委託します。

また、広告・イベントスペースの概要や活用事例等を紹介するパンフレットを活用し、引き続き利用率の向上に取り組めます。



＜ クイーンズサークルでのイベントの様子 ＞



＜ 広告・イベントスペースご利用ガイド ＞

<事業報告>

- ・クイーンモール1階及びステーションコア地下3階の一部を店舗スペースとして貸付け。
- ・クイーンモール2階「みなとみらいギャラリー」の運営、モール内イベントスペース「クイーンズサークル」、商業サイン等（フラッグ、大懸垂幕等）掲出スペースの貸付け等を実施するとともに、更なる利用率向上に向けた取組みについて検討した。
(クイーンズサークルの利用率は、昨年度同期比(4月～3月)で+3.6%となっている。)